

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

| | | | | | | | | | | |
|---------|--|----|-----------------------------------|---|------------------------------------|-------|-------|-------|--------------|---|
| 事務事業名 | 感染症予防事業 | | <input type="checkbox"/> マニフェスト関連 | <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 | <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連 | | | | | |
| 総合計画 | 政策 | 4 | みんな元気で笑顔あふれるまちづくり | 所属部 | 健康福祉部 | | | | | |
| 体系 | 施策 | 15 | 健康づくりの推進 | 所属課 | 健康づくり推進課 | | | | | |
| | 基本事業 | 45 | 地域医療体制の充実 | 所属班 | 健康推進班 | | | | | |
| 予算科目 | 会計 | 一般 | 4 | 1 | 2 | 10380 | 法根拠 | 予防接種法 | 成果優先度評価結果 | ③ |
| | 課 | 1 | 2 | 10380 | 10380 | 10380 | 10380 | 10380 | コスト削減優先度評価結果 | ④ |
| 終了、開始年度 | <input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始 | | 事業期間 | <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度) | | | | | | |

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

| | |
|--|---|
| 【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む) | 予防接種法に基づく定期接種及び行政措置での任意接種を集団及び個別で実施。また、感染症予防の普及啓発を行う事業である。定期接種はBCG、ポリオ、DT、DPT、MR(麻しん、風しん)、日本脳炎、65歳以上のインフルエンザである。任意接種は、1歳～65歳未満のインフルエンザ、子宮頸がん予防ワクチン(HPV)、ヒブ、小児用肺炎球菌である。HPVは平成23年3月から、ヒブと小児用肺炎球菌は5月から実施している。自己負担額(1回あたり)は、インフルエンザ1,500円、HPV3,000円、ヒブと小児用肺炎球菌は各2,000円徴している。その他の予防接種は自己負担なく、全額市が負担している。 |
| 【業務の流れ】 | 年度当初に医療機関と契約。予約票作成。ワクチン購入・管理。集団接種(ポリオ・BCG・DT)個別予防接種(DPT・MR(麻しん、風しん)・日本脳炎・インフルエンザ・HPV・ヒブ・小児用肺炎球菌)の実施。健康づくり事業計画表・広報・健診・家庭訪問等で周知。接種台帳管理、電算入力。 |
| 【主な予算費目】 | 賃金、旅費(費用弁償・普通旅費)、需用費(消耗品費・印刷製本費・医薬材料費)、役務費、委託料、負担金補助及び交付金(補助金) |
| 【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? | 平成22年度は、インフルエンザ予防ワクチンの自己負担1,000円であったが、今年度は1,500円で実施したため、「1,000円に戻して欲しい」、「熊本市のように無料にして欲しい」との要望があった。また、「合志市はインフルエンザの予防接種の補助があるからいいですね」と若い世代の方の意見もある。(新型インフルエンザから季節性インフルエンザに戻ったため国からの補助がないこと、ワクチンの単価が上がり委託料も上がったため、今年度の自己負担は1,500円となった。また、熊本市は、65歳以上の者及び生活保護者のみに補助している。) HPV、ヒブ、小児用肺炎球菌予防ワクチンについて、熊本市は自己負担を取っていないので、合志市も自己負担なしにして欲しいとの意見がある。 |

1 現状把握の部(DO、PLAN)

| | |
|---|---|
| (1) 事務事業の目的と指標 | 新規・拡充区分 |
| ① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO) | 24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) |
| 集団接種(BCG・ポリオ・DT)、個別接種(DPT・MR(麻しん、風しん)・日脳・インフルエンザ・HPV・ヒブ・小児用肺炎球菌)の実施。HPVは補助実施後、メーカーのワクチン在庫不足のため、接種を希望しても実施できない状況になった。また、ヒブ及び小児用肺炎球菌は接種後の死亡事例が発生し一時中断したため、当初予定より少ない接種率である。日本脳炎は、平成17年より積極的勧奨を差控えていたが、再開され接種率が伸びている。 | 集団接種(BCG・ポリオ・DT)個別接種(DPT・MR(麻しん、風しん)・日脳・インフルエンザ・HPV・ヒブ・小児用肺炎球菌)の実施。乳幼児健診・広報・個人通知で予防接種について周知。また、ポリオ予防接種については、9月のワクチンの切り替えに伴い、医療機関との協議、契約、周知等が必要。 |
| ① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) | (単位) 予算の主な増減の理由 |
| → ア: 市が補助をした予防接種の数 | 種類 |
| → イ: | 種類 |
| ② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 | ② 対象指標(対象の大きさを表す指標) |
| 乳幼児、小学6年生(DT)、中学1年生・高校3年生(MR)、中学1年生～高校2年生(HPV)、インフルエンザは1歳以上の市民。 | → ア: 予防接種の対象者数 |
| → イ: | → イ: |
| ③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) | ③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) |
| 感染症を予防することができる。 | → ア: 接種件数 |
| → イ: | → イ: |
| *③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 | |
| 接種者数が増えることで、感染症を予防ができ本事業の意図につながるため成果の指標とする。また、接種率が低下しないよう働きかけていく必要がある。 | |
| 総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0 | |

| | | | | | | | | | |
|-----------------|--------------|------------|------------|--------------|------------|--------------|---------|---------|---------|
| (2) 各指標・総事業費の推移 | 単位 | 21年度実績(決算) | 22年度実績(決算) | 23年度目標(当初予算) | 23年度実績(決算) | 24年度目標(当初予算) | 25年度予定 | 26年度見込 | 27年度見込 |
| ① 活動指標 | 種類 | 7 | 8 | 10 | 10 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| ② 対象指標 | 人 | 54,856 | 55,960 | 55,751 | 55,960 | 56,222 | 56,693 | 56,700 | 56,750 |
| ③ 成果指標 | 件 | 28,011 | 36,091 | 46,500 | 39,474 | 40,000 | 40,000 | 40,500 | 40,500 |
| 投資入費量 | 国庫支出金 | 千円 | | | | | | | |
| | 都道府県支出金 | 千円 | | 11,478 | 49,336 | 22,828 | 22,394 | 22,394 | 22,394 |
| | 地方債 | 千円 | | | | | | | |
| | その他 | 千円 | | | | | | | |
| | 繰入金 | 千円 | | | | | | | |
| | 一般財源 | 千円 | 85,332 | 112,711 | 166,487 | 143,238 | 140,514 | 170,514 | 170,514 |
| | (A) 事業費計 | 千円 | 85,332 | 124,189 | 215,823 | 166,066 | 162,908 | 192,908 | 192,908 |
| | (A)のうち指定経費 | 千円 | 0 | 61,656 | 1 | 6,467 | 0 | 0 | 0 |
| | (A)のうち時間外、特勤 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 人件費 | 人 | 10 | 9 | 10 | 8 | 9 | 9 | 9 |
| 延べ業務時間 | 時間 | 1,700 | 2,228 | 1,760 | 2,270 | 1,760 | 1,760 | 1,760 | |
| (B) 人件費計 | 千円 | 6,766 | 9,179 | 7,251 | 9,166 | 7,251 | 7,251 | 7,251 | |
| トータルコスト(A)+(B) | 千円 | 92,098 | 133,368 | 223,074 | 175,232 | 170,159 | 200,159 | 200,159 | |

| | | | | | |
|-------|---------|-----|-------|-----|----------|
| 事務事業名 | 感染症予防事業 | 所属部 | 健康福祉部 | 所属課 | 健康づくり推進課 |
|-------|---------|-----|-------|-----|----------|

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

| | | | |
|---------|---|---|---|
| 目標達成度評価 | ①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？ | <input type="checkbox"/> 達成した 接種率が100%でない予防接種があるため、接種率を上げるために周知徹底を行う必要がある。 | <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 接種率が100%でない予防接種があるため、接種率を上げるために周知徹底を行う必要がある。 |
| | ②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 感染症予防の啓発・周知を行うことで目標達成できる。 | <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 |
| 有効性評価 | ③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 接種者の増加や接種率向上のため、健診や広報等で接種勧奨をしていく。また、必要時には個別通知を行う。 | <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 |
| | ④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。 | <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 |
| 効率性評価 | ⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 他市町と比較をしたが、接種料金は適正である。また、個人負担金を増やすことにより接種率が下がり、感染症が蔓延する可能性がある。そのことで医療費増につながる可能性がある。削減の余地はない。 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 |
| | ⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) | <input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 過誤があつてはならないため、必要不可欠な人数で接種を実施している。また、個別接種より集団接種で行ったほうが事業費自体は抑えることができ、接種率の向上にもつながる。 | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 |
| 公平性評価 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 乳幼児・学童の定期予防接種については無料で、インフルエンザについては一部負担がある。一部負担金については、近隣市町と足並みを揃えているので公平と考える。 | <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 |
| 役割分担評価 | ⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 予防接種法で定められているため。 | <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 |

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

接種率の向上を図るため、さらに健診や広報等で接種勧奨をしていく。また、必要時には個別通知を行う。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

| (1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) | (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 | | | | 低下 | | | |
|--|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|--|--|--|----|--|--|--|
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |